

念ふにふん行動するふん

谷口雅春先生
新教育実践者代表
代田健蔵

今年六月のはじめ、次男の曜から朝顔の鉢を贈られた。
その朝顔をマシヨンのベランダに置きました。最初は曇ばかりで、蕾一つありませんでしたが、やがて赤紫の小さな花が咲きました。とても可愛らしいです。
いつも朝顔に水をやるのは私ですが、ある朝、わたしが何気なく朝顔に水をやりまし

た。
ただ、それだけの事ですが、それからは朝顔の花の見かたに違いが出て、今まで感じたことのない朝顔への愛着が生まれました。愛しさが前より強くなったのです。

上手に表現できませんが、可愛らしいという感じが前より深くなったのは確かです。
谷口雅春先生は「愛する者は決して特別配置ではない」との警句を紹介された時、「心に愛することが形にあわられるのだから、ただ愛するだけで、その愛に相応しい行動を起こさない人などとは、その「心」に思うことと「が成敗しないのです」と述べられ、聞いて「……」と涙に浸っていた。その「心」に思うことと「が成敗しないのです」と述べなかつたならば、いつまで経っても空想は表れないでしょう」と示されています。新装版『教育』第1巻第1頁

諸外国に比べてわが国の青少年は「自己肯定感」が低いと言われていますが、自己肯定感がないと当然ながら生きる喜びも、日々の活力も生まれません。

自己肯定感の基になるのは「愛し、愛されること」そして「互いに認めあう」行為にあります。「愛する者が愛される」「讃嘆する者が讃嘆される」これがそれぞれの法則です。小さなことでよいのです。心に安全満ちた「愛想」をしつかりと願ひつつ、最愛の行為、認めあう言葉を実践し、自然共に大いに元気を引き出しあいましょう。

自分に誇りをもち 親に誇りをもち 祖国日本に誇りをもつ 青少年を育成する

責任編集
公益財団法人 新教育者連盟

生命の教育

『生命の教育』創刊者 谷口雅春先生御葬式

平成29年11月号 もくじ

巻頭のことば 新教育者連盟理事長 代田健蔵

特集 日本への誇りが子供の生きる力を引き出す

- 5 日本人が大切にしてきた「大和」の心 谷口雅春
- 8 母のほの心あたたまる神話や童話、日本の偉人の話を！ 藤澤礼子
- 10 【特別インタビュー】
問題を抱えていた子供たちが生まれ変わる
男忠国際高等学校校長 野田 舜晴
- 14 【特別インタビュー】
神話が現代に生きる日本の素晴らしいさを伝えて
日本航空大学校長 浅川 正人
- 18 行き詰まった時にも前向きになれる 森本真由
- 19 人や国のお役に立つ人生に 井崎真理

- 20 子育ては子育て (60) 「母と子の世界」の始まり 田下晶明
- 21 子育てワンプoint (R) 『よい夫婦』に 出口正博
- 22 子育てQ&A 祖父母が甘やかしてばかり 大原和子
ゲームなどで遊んでばかり 小林義典
男の子に言葉遣いが悪い順 阪友規代
- 25 日本国憲法の問題点 勝間寛次
道徳用教材「私たちの道徳」を活用しよう(上)
- 26 日本人100の誇り (R) 桂離宮 岡田幹彦
- 27 親子で学ぶ世界と日本 (R) バンダは日本・チベット友好のシンボル 高木桂典
- 28 親子で読むものがたり (R) 第一代の天皇さま 神武天皇 千葉ひろ子
- 30 生命の教育で学んだこと 若石悠子
- 31 新教育いんふおのーしょん
◇11月の研修会・特別講演会の案内、大阪支部講演会の案内
◇東京 親と子の楽園の活動模様など
◇11月支部行事
- 34 事務局通信・編集後記・次号案内

生命の教育 七つの心得

- 一、子供に宿る個性を信じ、これを引き出し伸ばし、育てます。
- 二、この子の個性も尊重し、この世に生まれた使命を生かします。
- 三、よい習慣をしつづけて、正しいしつけをいたします。
- 四、親の心は心の病、愛は優しさの仮面、親方は一紙します。
- 五、親が変われば子供が変わる。何よりもまず、明るく家庭をつくります。
- 六、いつもニコニコ、やさしい口で、認めてほめて、たたえます。
- 七、花咲くのを待たず、信じて気ながに育てます。

